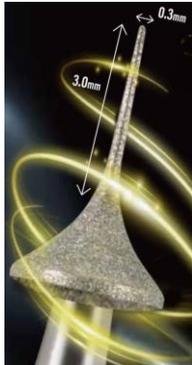


UK REPORT

New Products

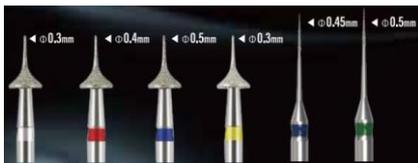
**スムーズスペース
/ビーエスエーサクライ**
＜インタープロキシマルリダクションバー＞



ビーエスエーサクライから発売された“Smooth Space（スムーズスペース）”は、6本の異なる形状のバーにより、従来のストリッピングと比較して短時間で効率的にエナメル質除去が可能な矯正用IPR（インタープロキシマルリダクション）バーです。

【特徴】

- 特殊ダイヤコーティング技術により、エナメル層の微細なクラックを防止しながら効果的に切除します。
- バー後部には、歯肉に考慮したフレア形状を採用し、的確に自然なシェイプを形成することが可能です。
- アソートパック（i03F、i04F、i05F、i03SFの各1本入）があります。



標準価格＝1セット（3本入） 2,400円
アソートパック（4本入） 3,200円

**お口を洗うジェルAZ
/日本歯科薬品**
＜口腔ケア用ジェル＞



日本歯科薬品から8月23日から発売される“お口を洗うジェルAZ”は、無香料&薬用成分を配合したお口の汚れを軟化させてからめとる口腔ケア用ジェルです。

【特徴】

- 薬用成分グリチルリチン酸ジカリウム（抗炎症成分）と塩化セチルピリジニウム（殺菌成分）を配合しております。
- うるおい成分グアニアズレンスルホン酸ナトリウムとヒアルロン酸ナトリウムを配合しております。
- 塗り広げやすく、たれにくいジェルが汚れを軟化させて、からめとります。
- 吸引・除去しやすい性状なので、ジェルで汚れをからめとりながらすばやく吸いとることができ、吸引管を用いることで誤嚥性の心配がある患者さんに「水を使わない口腔ケア」を行うことができます。

患者参考価格＝

1本（80g入） 1,870円（税込）
1本（25g） 847円（税込）

**セーフタッチ アドバンスド
ブラック/ARメディコム・インク**
・アジア・リミテッド
＜ニトリルグローブ＞



ARメディコム・インク・アジア・リミテッドから8月21日発売される“セーフタッチ アドバンスド ブラック”は、光を乱反射しない黒の利点を歯科診療に最大限活かしたニトリルグローブです。

【特徴】

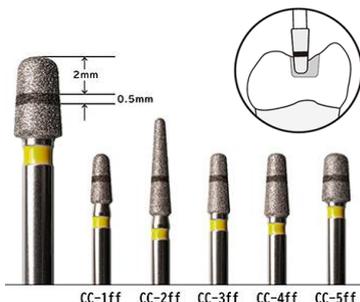
- 口腔内光学スキャンでは、光の変化を捉えて画像を生成するため、光の反射が少ない本品を使用することで精度の向上につながります。
- 歯とのコントラストが明瞭で術野を際立たせ、ライトの光を殆ど反射しないため、診療がしやすくなります。
- パウダークリーニング時の汚染された飛沫の付着が明確に可視化され、グローブ交換の目安となり、感染防止につながります。
- 装着性、操作性に優れ、ラテックスフリーのため、アレルギーのリスクも抑制します。
- サイズは、XS・S・M・Lの4種類。



標準価格＝10箱/ケース（100枚/箱）
オープン価格

My Recommendation

『マークCCバーセット』
＜日和田精密製作所＞



標準価格＝10本セット
（各形態・仕上げ用ff各1本） 8,200円
マークCC用バースタンド 700円

目盛り付きCAD/CAM インレー形成用ダイヤモンドバー！

今回ご紹介させていただきますのは、(株)日和田精密製作所より発売されている『マークCCバーセット』です。マークCCシリーズは、先端から2mmの部分に付けた0.5mm幅の黒色線を目安に窩洞形成を行うことで、CAD/CAMインレーに必要な厚みを確保することができます。「マーク」はディーブシャンファーおよびバーの先端隅角を丸めたコーナースラウンテッドテーバー形状で、ダイヤ部先端から2.0mmの部分に0.5mm幅の黒色目盛をレーザー印記しております。この黒色印記部を目安とすることで、インレー窩洞を1.5~2.0mmの均一な深さで形成できます。また、インレー2級窩洞の隣接面ボックス形成の折にも、黒色目盛上部がバー先端から2.5mmに位置することから、これを目安に直視できない部分の形成にも有効です。

ご使用いただいております先生より、「形成が簡単になった。効率上がり、チェアタイムの短縮につながった。」と喜びの声を頂いております。是非この機会にご検討下さい。詳細につきましては弊社営業担当者までお問合せください。

久留米店 営業一課 友田 智之

歯科医院経営を考える(559)

デンタル・マネジメント・コンサルティング
門田 亮

～ 組織的な医院運営を意識する ～

全国の歯科医院数を把握する調査に「医療施設調査」があります。厚生労働省が毎月行っているものですが、最新の令和6年4月の調査結果を見ると、歯科医院総数は66,768施設、そのうち個人診療所49,222施設、医療法人16,895施設となっています。歯科医院総数は平成28年度調査による68,940施設をピークに減少に転じていますが、個人・医療法人の内訳をみると、現在は個人診療所が減少し医療法人が増加を続けている状況です。全歯科医院数における医療法人数の比率は25.3%と高まってきていますが、10年前の平成26年調査時点では、個人診療所55,558施設、医療法人12,393施設であり、医療法人の比率は18.1%であったことから、年々その比率は上昇傾向であるといえるでしょう。

医療法人が増加する動きは、歯科医院一施設あたりの診療収入が大きくなってきている影響もあるでしょう。同じく厚生労働省が2年に1度調査を行っている「医療経済実態調査」(令和5年実施)の資料に基づきますと、個人診療所の平均医業収益は47,958千円から47,190千円へと少し減少しておりますが、医療法人については108,852千円から110,768千円へと1.8%の伸びを示しています。事業承継等により世代交代を果たし医院の若返りが進んでいることや、メンテナンスの仕組みと歯科衛生士の配置が整い定期的に来院する患者さんの確保と対応が進むことにより、医業収入が増加することにつながっているものと考えられます。メンテナンス等に対応するためには、比較的多数のチェアーユニットを設置し、多くのスタッフを擁する必要があることから、必然的に個人から医療法人に組織変更をする必要が生まれているのかもしれない。

歯科医院の運営が医療法人となりますと、健康保険や厚生年金などの社会保険への加入や就業規則の整備、有給休暇の取得管理や昇給、賞与の評価などの労働環境が整っていることが問われます。勤務するスタッフから求められるだけでなく、歯科医院に応募する求職者にとっても医院を選択する重要な要素となります。こうしたことは医療法人に限らず、個人診療所においても規模が大きくなるにつれて、給与体系や昇給・賞与の仕組み、あるいはシフトの組み方、休みの取り方に至るまで、スタッフの処遇に関する細かな取り組みが問われることとなります。つまり家業・生業としての運営から離れ、一つの事業としてしっかりと組織的な医院運営に取り組む必要が生じるということでしょう。

今後、診療所規模が大きくなる傾向が続けば、院長をはじめとする歯科医師のほか、歯科衛生士、歯科技工士等の専門職種はより医業活動に専念し、労働管理・計数管理については事務系職種が担うという経営形態が進むかもしれません。院長自身もスタッフとともに組織のルールの中で過ごし、その中で日々の経営判断を行うなど、より組織運営の視点が必要な時代だといえるのではないのでしょうか。

(つづく)

※玉手ニュース 2024年 8月号より転載

New Books & Video

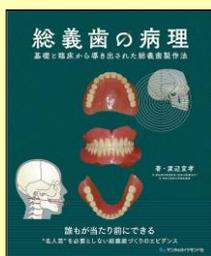
★今週の新材

『総義歯の病理』

～基礎と臨床から導き出された総義歯製作法～

『「治せる」を学べる! SRP臨床アーカイブ』

～長谷ますみ流クリニカルメソッド 実践編～



病理学的な側面から総義歯の基本的な形の存在と、独自の咬合の考え方を確立して取り組んでこられた著者の総義歯臨床の集大成。総義歯には“基本的な形”があり、完成した総義歯は相似形となるため、イノベーションの概念で読み進めていただきたいとの思いが込められた一冊。誰もが当たり前に行っている“名人芸”を必要としない総義歯づくりのエビデンス満載の書。

- 編著=渡辺 宣孝
- 出版=デンタルダイヤモンド社
- 価格=7,200円+税



総勢17名の執筆者による確かな非外科的歯周治療が歯周組織を治癒へと導いた症例を豊富な資料とともに詳しく解説。口腔内の状態に合わせたインスツルメントの選択やキュレットワーク、コミュニケーションのコツまで、臨床で活きるヒントが必ずみつかる一冊。

- 編著=長谷 ますみ
- 編集協力・著=下野 正基
- 出版=デンタルダイヤモンド社
- 価格=6,300円+税

